

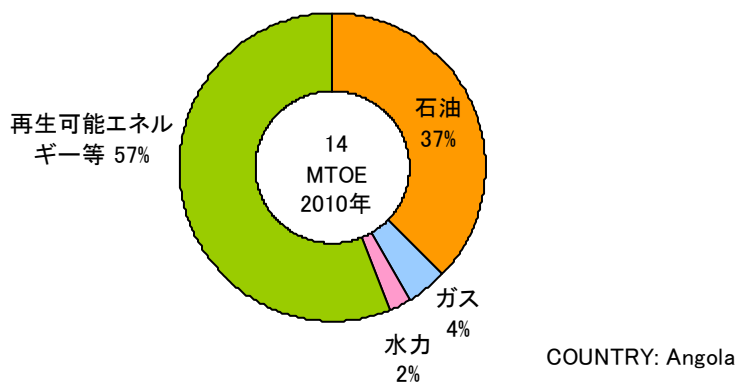
5-7 アンゴラ

1. サマリー

1. エネルギー事情

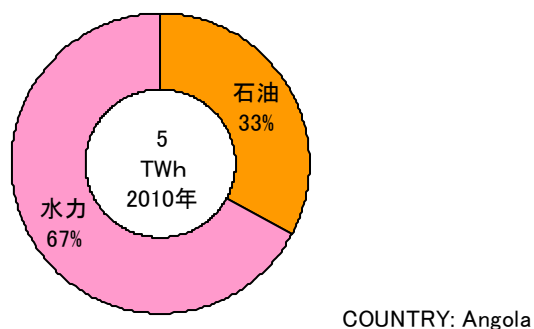
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 13.67 百万 TOE (日本の3%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.72 TOE (日本の20%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 723%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 16.6 百万 CO₂ 換算 ton (日本の1.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 0.87 CO₂ 換算 ton (日本の9.7%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 21.2年、天然ガス N.A.

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- アンゴラには、石油省 (MINPET) とエネルギー・水資源省 (MINEA) がある。同国の石油資源を事実上管理しているのは、1978 年に設立された国営石油会社 Sociedade Nacional de Combustiveis de Angola (Sonangol) である。電力に関しては、エネルギー・水資源省所管の下、1980 年に設立された国有電力会社 Empresa Nacional de Electricidade (ENE) が発送電を一貫して行なう。

(2) 基本政策

- GDP の 40%、政府歳入の 90% を石油に依存している同国の基本政策は、Sonangol を中心に石油生産の拡大を図り、国家歳入を増やすことである。大水深鉱区を外資に開放した結果、次々と大規模油田が発見・開発されアンゴラの原油生産量は急増している。
- 随伴ガスに関しても現在焼却処分しているガスを 2012 年までに LNG として輸出すべく、パイプラインの建設ならびに LNG 基地建設の計画を進めており、石油と合わせて国家歳入を拡大する計画である。

(3) 最近の動向

- アンゴラでは、原油、天然ガス (LNG) の生産増が期待されている。原油では、2011 年末に生産段階に入った TOTAL が操業する Pazflor 油田 (22 万 b/d) とともに、BP が操業する PSVM 油田 (15 万 b/d) も 2012 年 6 月までに生産段階に入ることとなるほか、Soyo の LNG プラント (520 万トン/年) も 2012 年 4 月からテスト運転を開始し、同年末までには LNG 出荷の予定である。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国ではアンゴラからの原油輸入は殆ど無い。石油連盟の原油輸入統計によると、2011 年度の我が国の対アンゴラからの原油輸入は、低硫黄のカビンダ (Cabinda) 原油の約 8 万 kl (輸入金額では 50 億円弱) のみである。
- 三菱商事子会社の MC エクスプロレーション社の子会社であるアンゴラ石油(株)が、生産油田パランカ (Palanca) 権益の一部を有している。
- 2010 年 5 月、JOGMEC は、地質鉱物・工業省と、鉱物資源の探査・開発などで関係を強化する包括的な内容の覚書 (MOU) を締結した。今後、JOGMEC は鉱物資源ポテンシャルを評価するための共同解析を開始する予定。レアメタル資源の権益確保へ向けた民間鉱山会社との合弁探査プロジェクトの形成を加速させたいとしている。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	13.67	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.72	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.26	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	723	%
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	16.6	百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	0.87	CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	0	%
	石油	37	%
	ガス	4	%
	原子力	0	%
	水力	2	%
	再生可能エネルギー等	57	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-623	%
(9)	石油の輸入依存度	-1,675	%
(10)	輸入原油の中東依存度	-	%
(11)	原油輸出先	第1位	中国
		第2位	アメリカ
		第3位	インド

(出所) (1)~(4) および (7)~(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)~(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(10)~(11) は DOE/EIA, Country Analysis Briefs